
鬱悒い

Shief

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鬱悒い

【Nコード】

N1834Y

【作者名】

Shief

【あらすじ】

20th anniversaryネタばれ有り、捏造です

嗚呼、鬱悒い。

あの出来事から何年経ったかも覚えていない。
未だに彼は、この世界に存在している。

あのエコロの出来事から数ヶ月、プリンプ魔道学校にはいつもの日常が既に訪れていた。
しかし、突然クルークが数日前から姿を消していることが発覚。
アミティ達一行がクルークを探し始めてから2日後、
シグも姿を消していた。
2人の生徒が行方不明という事態に陥った。
そして先生も捜索に参加。
たまたま訪れていたレムレスもなぜか参加すると言い出した。

今宵は我らに相応しい

一、存在（前書き）

！ A t t e n t i o n ！

20thのネタバレを含み、

盛大な捏造ストーリーとなっております。

ご注意ください！

一、存在

なぜ我らは尚存在しているのだろう。

なぜ我らは出会えないのだろう。

なぜ我らは人と話しているのだろう。

なぜ我らはまだ生きているのだろう。

？

なぜ、なぜ、なぜ。

一度考え出すと思考が止まらない。

誰かに問いかけたい。

どうせ避けられるだろう。

人間の身体を借りて聞こう。

どうせ答えは返ってこない。

我らを尚拒絶この世界は、

憎い、嫌い、壊れてしまえばいい。

元の根源は我らの筈なのに、こんな感情しか浮かばない。

人間の身体を始めて乗っ取った頃から感情を思い出してきた。

脳裏に浮かぶ。

我らを嫌悪する。

何をした？と人間に聞いた。

存在しているだろう、と答えた。

・・・なぜ、我らは尚、存在しているのだろうか。

二、行方

あのエコロの出来事から数ヶ月経ったある日。

あの時は本当にこの世が終わったんじゃないかって思ったけれど、
もう平和が訪れている。

でもいつもと違う事が1つだけ。

4日前程から、クルークが欠席していることだけ。

「あれ、またクルークお休みなんだね？」

「どうせ風邪だよ、いつか来るよ」

皆そうやって答えるけど、4日も風邪って続くものなのかな、と思う。

私は滅多に風邪をひかないから分からないけど、1日、2日位で治ると思うんだけどな。

聞いてもすぐ頭がショートする授業をやり過ごして、

シグとラフィーナにクルークの家に行ってみようと誘った。

2人も少し気になっていたのか、暇だったのか分からないがあっさり承諾した。

ラフィーナが行くのは珍しいな。

そう思いながら、私達は放課後クルークの家に訪れてみた。

今は少し寒い時期だから、日が落ちるのも早くて
すぐ薄暗くなった。

3人で他愛も無い話をしながら薄暗い道を歩いて、
クルークの家に辿り着いた。

けれど、家には明かりが1つも点いていなく、
中から寝息や物音もしないので、クルークが家にいないことが分か
った。

「あれ？なんで家にクルークいないのかなあ」

私はすごく不思議に思った。

先生が今朝にお知らせしたこと。

『休みが続いてるクルークさんについては、連絡が取れない状態な
ので、

何か知っている人がいたら先生に知らせてください』

と言っていた気がする。

すごく、不審に思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1834y/>

鬱悒い

2011年11月3日17時04分発行